

地域における地球温暖化防止活動促進事業実施報告書

事業名	地域における地球温暖化防止活動促進事業			
事業実施の団体名	公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク			
地域センター名	宮城県地球温暖化防止活動推進センター			
<事業の目的>				
<p>本事業は、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号）に基づき、宮城県地球温暖化防止活動推進センター（以下、「宮城県センター」という）が実施する、宮城県民の日常生活に関する温室効果ガスの排出実態に関する地球温暖化防止活動推進員（以下、「推進員」という）も活用した調査、情報収集、普及啓発、地域関係団体との連携等の事業であって、エネルギー起源二酸化炭素の排出の抑制に資する事業を実施することを目的とする。</p> <p>特に、昨年末発効した「パリ協定」を踏まえた最新の温暖化問題の現状および対策に関して、COOL CHOICE を積極的に活用し県民へ普及啓発を強化することで、COOL CHOICE の推進および低炭素型ライフスタイルの推進を目指した。</p>				
<実施した事業の概要>				
<p>①【地球温暖化対策等（COOL CHOICE 含む）についての広報・啓発活動】（第38条第2項第1号前段）</p> <p>宮城県における県民の日常生活に関する温室効果ガスの排出実態について、調査実施および結果の周知・広報や実践活動への展開を図るとともに、温室効果ガスの削減効果や行動変容等について評価を行った。また、COOL CHOICE の周知・普及・実践拡大を図った。</p> <p>（1）キリバス環境出前講話の実施</p> <p>主に学校を対象に、温暖化により国亡の危機に直面しているキリバス共和国をテーマとした温暖化の影響に関する環境講話の講師派遣の広報および派遣実施を行った（講師は宮城県在住のキリバス人に依頼）。講師派遣にあたっては無料派遣とし、講師謝礼は本事業費より捻出した。</p> <p>昨年度に引き続き2年目となった今年度は、昨年度の課題を踏まえ、オプション講座として、希望校に対し仕組み・原因・対策についての講座の講師派遣も実施可能とするよう改善した。仕組み・原因・対策についての講座を希望する場合の講師派遣は、①広報・啓発活動の（2）環境講座・授業への講師派遣にて対応する（推進員またはセンター職員を派遣）ことで、受講者のニーズに応えるとともに、通常講師派遣の回数増大の相乗効果も図った。</p> <p>*実施時期：6月～2月</p> <p>*実績：20回実施、1,956名受講</p> <p>*内容：太平洋に浮かぶ低海拔環礁国であり地球温暖化最前線国キリバス共和国の文化とそこに暮らす人々の生活を通し、地球温暖化問題について考えるきっかけを与える「キリバス環境出前講話」を実施した。</p> <p>*タイトル：国がなくなる?!～キリバス共和国と地球温暖化～</p> <p>*講師：ケンタロ・オノ氏（キリバス共和国名誉領事館 名誉領事・大使顧問、宮城県仙台市在住）</p> <p>※講師・タイトルは全回共通</p>				
<キリバス環境出前講話 実施実績>				
	開催日	学校名	対象	人数(名)
1	6/30(金) 9:35～11:30	栗原市立築館小学校	小学4年生、教員	107
2	9/14(木) 13:50～15:20	仙台市立七郷小学校	小学5年生	170
3	9/19(火) 13:15～14:45	大崎市立古川第二小学校	小学5年生	123
4	9/20(水) 9:50～10:40	宮城県石巻工業高校	化学技術科3年	40
5	9/26(火) 10:40～11:25	加美町立鹿原小学校	小学3～6年生	26
6	10/11(水) 13:25～14:55	美里町立小牛田中学校	中学1～3年生	250
7	10/13(金) 13:30～15:00	仙台市立北仙台小学校	小学5年生	85
8	10/24(火) 14:00～15:30	仙台市立高砂小学校	小学6年生	76
9	10/25(水) 9:05～10:35	宮城県白石工業高等学校 電気科	電気科2、3年生	70

10	11/6 (月) 14:30~16:00	尚綱学院大学	環境構想学科1年生	50
11	11/14 (火) 10:50~12:20	利府町立青山小学校	小学6年生	60
12	11/15 (水) 14:40~16:10	東北工業大学(工学部 環境エネルギー学科)	大学1年生	65
13	11/21 (火) 9:35~11:05	多賀城市立山王小学校	小学6年生	113
14	11/27 (月) 10:45~12:15	登米市立米谷小学校	小学5,6年生	32
15	12/4 (月) 10:20~12:00	石巻市立中津山第一小学校	小学5、6年生	39
16	12/8 (金) 13:30~15:00	利府町立利府西中学校	中学3年生	140
17	12/18 (月) 10:35~12:05	東松島市立矢本第一中学校	中学3年生	176
18	12/19 (火) 10:50~12:20	利府町立利府小学校	小学6年生	115
19	1/9 (火) 16:10~17:40	宮城大学食産業学部	食産業学部2年生	140
20	2/6 (火) 13:35~15:15	利府町立利府第三小学校	小学6年生	79
合計				1,956



6/30 築館小学校



9/14 七郷小学校



9/20 石巻工業高校



11/6 尚綱学院大学



12/18 矢本第一中学校



1/9 宮城大学

(2) 環境講座・授業への講師派遣

昨年度の課題を踏まえ、今年度はキリバス環境出前講話と連携し講師派遣回数が増大を図った。

*実施時期：6月～2月（通年）

*実績：6回実施、528名受講

※(2)の講師派遣においては、通常の講師派遣業務であり、講師料は捻出しない。

<環境学習への講師派遣>

	開催日	主催	内容	派遣者名	受講者数 (名)
1	7/12(水)	栗原市立築館小学校	温暖化を防ぐには？—私たちにできること—	推進員(千葉智恵氏)、 宮城県センター職員	107
2	7/25(火)	仙台市立荒町児童館	身近な環境発見！「〇〇ボックスで遊ぼう！」	宮城県センター職員	100

3	8/19 (土)	亘理町	マイタンブラーペイント	宮城県センター職員	32
4	9/15 (金)	岩沼市立岩沼西小学校	総合的な学習「地球温暖化を 考えよう」	推進員 (澤田敏翁氏、 澤田裕子氏、塚崎隆夫 氏)	181
5	9/21 (木)	仙台市環境局	〇〇ボックスで学ぼう!	推進員 (井上正志氏、 川村真貴氏、千葉きえ 子氏)	28
6	9/22 (金)	仙台市立北仙台小学校	温暖化を防ぐには? - 私たち にできること -	推進員 (千葉智恵氏)、 宮城県センター職員	80
合計					528



7/25 身近な環境発見!



8/19 マイタンブラーペイント



9/22 温暖化を防ぐには?

(3) 地域イベントにおけるブース出展

昨年度に引き続き、市町村との連携を活かし市町村主催イベントへの出展を積極的に実施した。出展にあたっては、推進員と協力し企画運営を行った。

*実施時期：6月～2月（通年）

*実績：13回出展、2,850名来場

<地域イベントへのブース出展>

	開催日	イベント名【主催】	出展内容	参加者数(名)	活動推進員数(名)
1	6/18(日)	しちがはま環境フェスタ【七ヶ浜町】	うちエコ診断、地球温暖化についての啓発、エネルギー体験、アンケート	100	5
2	6/25 (日)	第2回 きて、みて、さわって、たのしめる「環境マルシェ」【尚絅学院大学】	COOL CHOICE 周知、うちエコ診断	100	2
3	7/15 (土)	みやぎ生協太子堂店祭【みやぎ生協太子堂店】	COOL CHOICE 周知、うちエコ診断	50	1
4	7/16(日)	学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2017【特定非営利活動法人 natural science】	地球温暖化についての啓発、アンケート	500	6
5	8/3(木)～4(金)	震災対策技術展【「震災対策技術展」東北実行委員会】	地球温暖化についての啓発、アンケート	500	4
6	9/3 (日)	エコフェスタ 2017【アメリテイ・せんだい推進協議会】	COOLCHOICE 周知、うちエコ診断	50	1
7	9/23 (土)	MELON フェスタ【MELON】	〇〇ボックス、アンケート	80	4
8	10/8(日)	りふ環境まるごとフェア【利府町】	クイズラリー、アクリルたわしづくり、うちエコ診断、アンケート	500	7
9	10/15 (日)	柴田町環境フェア【柴田町】	COOLCHOICE 周知、うちエコ診断	20	2
10	10/28 (土)	エネサンス東北株式会社お客様感謝祭【エネサンス東北株式会社古川店】	COOLCHOICE 周知、パネル展示、うちエコ診断	100	2
11	10/29 (日)	おおがわら環境フェア【大河原町】	COOLCHOICE 周知、うちエコ診断	200	2

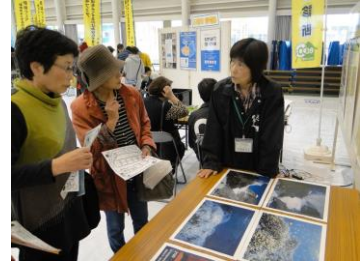
12	11/3 (金・祝)	石巻市環境フェア【石巻市】	うちエコ診断、温暖化についての展示、アンケート	500	2
13	12/10(日)	環境フォーラムせんだい2017【FEEL せんだい】	地球温暖化の普及啓発、うちエコ診断、アンケート	150	5
合計				2,850	43



7/16 サイエンス・デイ 2017



10/8 りふ環境まるごとフェア



11/3 石巻市環境フェア

(4) 地球温暖化に関する講演会の開催

パリ協定や COP23 に関する地球温暖化に関する日本や世界の動向の最新情報について広く県民へ普及啓発を行うことを目的としたイベントを 1 回開催した。

タイトル:「COP23 (ボン会議) 報告会 in 仙台～地球温暖化対策に関する世界・日本の動きと個人が取り組めること～」

日 時: 1 月 14 (日) 13:15～14:30

会 場: 仙台市地下鉄東西線「国際センター駅」2F 青葉の風テラス

内 容: 講演会 60 分、質疑応答 15 分

講 師: 久保田泉氏 (国立研究開発法人 国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員)

参加者: 66 名

総 括: 事前の周知期間が約 1 ヶ月程度と短くなってしまったため集客が心配されたが、事前申し込みで 35 名、当日受付で 31 名の計 66 名が参加した。定員 70 名とほぼ同等の来場者であった。講演は COP についての知識をある程度持っている人向けの内容で、一般向けとしては多少難しめの内容であったと思われる。アンケート結果を見ると、COP の名前とだいたいの内容を知っている人が 75%、COP について全く知らなかったと回答した人が 14%と、来場者の多くは COP の知識を持っている方であったことから、参加者と講演内容のレベルはマッチしていたものと思われる。参加者の感想でも、「世界の温暖化対策の動きが良く分かった」「有意義な機会を得ることができた」など好評であった。



(5) 温暖化に関する世界の動向についてのウェブサイト作成

今年度は (4) における講演会参加者以外にも、より多くの県民に対しパリ協定や COP23 等を踏まえた世界や日本の温暖化に関する最新情報を伝えるため、当センターのウェブページ「せかいとオンダンカ」のページを更新し、講演会の結果や COP に関する最新情報を周知した。

※URL: http://www.melon.or.jp/melon/contents/Global_Warming/sekai/sekai.html

せかいとオندانカのウェブページ

(6) COOL CHOICE の広報および賛同登録の呼びかけ

上記(1)から(4)以外でも、推進員および関係各所と連携し COOL CHOICE の普及に努めるとともに賛同登録を呼びかけた。今年度は出前講話等と連携し受講者に対し COOL CHOICE の広報および賛同登録を呼びかけるなどして賛同登録の呼びかけを強化した。

*COOL CHOICE 賛同登録者数：5,775 名（個人 758 名、団体 4,997 名 [団体数 20 団体]）

(7) 家庭の省エネアンケートの実施

上記(1)から(4)を通し、推進員と連携し削減効果や行動変容を把握するための家庭の省エネアンケートを実施した。今年度もイベント出展時の来場者をメインに実施したが、出展内容をクイズラリー形式にするなど楽しみながらアンケートに回答できるように工夫し、回答者の増加を図った。

*実績：8 回実施、634 名回答

②【地域地球温暖化防止活動推進員、活動団体等の支援】(第 38 条第 2 項第 1 号後段)

推進員のスキルアップやネットワーク作り、活動活性化を目的とした推進員対象の研修を 3 回実施した。また、講師派遣や地域イベント出展に積極的に推進員を活用するほか、推進員活動の広報を行うことで推進員活動の場の拡大を図った。

民間団体の活動支援においては、宮城県において地球温暖化防止活動を行う民間団体等の調査・取材・広報を行うことで、ネットワーク作りや温暖化防止活動の活性化を図った。

(1) 推進員研修の開催

10 月 14 日 (土)、12 月 2 日 (土)、2 月 3 日 (土) の全 3 回実施した。今年度は、新規推進員養成研修との合同開催や、他県センター職員や他県推進員をゲストに招くなど、ネットワーク作りを強化した。

1) 第1回推進員研修

日 時：10月14日（土）13:30～16:00

会 場：フォレスト仙台 2F 第1会議室

講 師：中田俊彦氏（東北大学 大学院工学研究科 技術社会システム専攻 教授）

内 容：（1）講演「持続可能なエネルギー社会を創る」

（2）参加型ワークショップ「エネルギービルのバックヤードツアー～電力・ガス検針票を読み解く力をつけよう～」

参加者：15名

総 括：各自の光熱費の検針票を持参しての講演やワークショップは、自分の生活を振り返る機会にもなり新たな発見があったようだ。参加者からは光熱費の切口からの温暖化の話に「斬新な話に驚きが多かった」「検針票を読み解く力が良かった」「生活に活用できるデータの再発見ができた」などの感想があり、推進員活動に役立つ情報を提供することができた。



中田氏の講演



CO₂や温度などの計測ツールを体験



自宅の検針票をチェック

2) 第2回推進員研修

日 時：12月2日（土） 13:00～16:30

会 場：フォレスト仙台会 2F 第7会議室

講 師：中山朋子氏（地球温暖化防止コミュニケーター、自然農場風天）

内 容：（1）推進員活動紹介（10分×6グループ）

紹介者：千葉智恵さん（推進員1期）、小室正博さん（推進員8期）、青空エコカフェ（推進員グループ）、エコ・森林（推進員グループ）、澤田・塚崎グループ（推進員グループ）、太陽とわたし（推進員グループ）

（2）環境学習ツール紹介（20分）

（3）ワークショップ「これから推進員としてやってみたいこと」（90分）

参加者：16名

総 括：参加者数は少なかったものの、新規と既存の人数は半々でちょうど良い配分であった。推進員の活動紹介の持ち時間は各10分ずつとそれぞれの活動を十分に伝えるまではいかなかったが、いろんなタイプの活動があるということや推進員活動や実際に活動している方の雰囲気は伝えることができたと言える。また、ワークショップを通して新規と既存の推進員が直接交流することで新規・既存ともに互いに刺激を受け、推進員活動に対するモチベーションアップにつながったようであった。



推進員活動紹介



アイスブレイク（自己紹介）



グループワーク

3) 第3回推進員研修

日 時：2月3日（土） 一部 10:30～11:45 二部 13:00～16:00

会 場：仙都会館 8F 会議室

ゲスト：一部／岩本承子氏（秋田市地球温暖化防止活動推進センター職員）

渡部純氏・佐藤英明氏（秋田市地球温暖化防止活動推進員）
二部／桃井貴子氏（特定非営利活動法人気候ネットワーク東京事務所 所長）
中島英彰氏（国立研究開発法人国立環境研究所）
原田和昭氏（環境省東北地方環境事務所 環境対策課）

内 容：一部／今年度の推進員活動のふりかえり

- (1) センターからの報告（10分）
- (2) 推進員からの北海道・東北ブロック合同推進員研修（2017年11月18日実施）報告（20分）
紹介者：井上正志氏、川村真貴氏、今野勇氏
- (3) 秋田市センターからの推進員活動の事例・ツール紹介（20分）
- (4) 質疑応答・意見交換（15分）

二部／フロンシンポジウム（一般公開）

境界のない空・大気・フロン～ともに目指そう地球環境保全！～

※二部は秋田市地球温暖化防止活動推進センターが主催。

参加者：一部／9名、二部／13名

総 括：例年同様に、午前・午後の二部制で開催した。午前の部については、主に北海道・東北ブロック合同推進員研修に参加した3名からの参加報告を行った。他県の事例についてポイントをまとめて紹介したことで、合同研修に参加していない他の推進員にも他県の推進員活動について雰囲気をつかんでいただくことができたようである。また、今回は午後のシンポジウムを秋田市センターと連携して実施したが、その関係で、秋田市センター職員および秋田市推進員をゲストとしてお招きし、直接秋田市における推進員活動についてお話しいただくことができた。参加者からは、「推進員活動に行きづまっていた時に、ヒントを得られた」「地域特性を活かした教材作りをおこなっていることが印象に残った」「今後グッズ作りをやってみたい」などの感想があり、今後の活動へのモチベーションアップやアイデア作りにつながったことがうかがえる。



秋田市ツール「環境玉手箱」



秋田市センターとの意見交換



フロンシンポジウム

(2) 東北ブロック合同推進員研修の開催

昨年度は山形・青森との3県合同で行ったが、今年度はさらなるスキルの高い推進員の育成やネットワーク作りを目指し、北海道・東北ブロックの合同推進員研修を実施した。また、合同研修に参加した推進員以外にも効果を波及させるため、合同研修に参加した推進員から(1)の研修にて報告等を行い、推進員全体への共有を行った。

平成29年度北海道・東北ブロック合同推進員研修 報告

日 時：11月18日（土）10:00～16:00

会 場：仙都会館 会議室5階B会議室

参加者：28名

- 内訳：●推進員16名（青森県2名、青森市2名、岩手県2名、秋田県2名、秋田市2名、宮城県3名、山形県2名、福島県1名）
●地域センター職員11名（北海道1名、青森県1名、青森市1名、岩手県1名、秋田県1名、秋田市2名、宮城県2名、山形県1名、福島県1名）
●全国ネット職員1名

※宮城県からの参加者：推進員（井上正志氏、川村真貴氏、今野勇氏）、センター職員（古林、吉田）

内 容：午前／講演（10:20～12:00）

「地球温暖化問題：大きく変わる世界と少しずつ変わる日本」

講師 明日香壽川氏（東北大学 東北アジア研究センター）

午後／研修（13:00～16:05）

- ①各地の推進員活動発表（1センター6分×8センター）
- ②参加型の場作り手法を用いたグループワーク
「バージョンUPでモチベーションUP」
ファシリテーター：吉田（宮城県C）、小笠原（青森県C）
- ③ふりかえり、アンケート記入

全体司会／福岡（秋田市C）

総括：北海道・東北ブロックのセンター職員および推進員が集まり一同に研修を行うのは初めての機会であったが、ブロック代表センターの青森県センター三浦さん主導のもと、無事企画予定通り研修を終えることができた。推進員にとっても、9センターもの他県の職員や推進員と交流する機会は初めてのことであり、非常に刺激を受け今後の活動のヒントを得られたようであった。研修に参加した推進員は各県2名程度であったため、研修で得たものを研修に参加していない推進員達にも伝え、地域全体の推進員のレベルアップにつなげたい。



明日香先生の講演



ツールを用いて推進員活動発表



グループに分かれ議論

（3）講師派遣・地域イベントへの推進員の活用、推進員活動の広報

当センターへ依頼のきた環境講座の講師派遣や地域イベント出展において、推進員を積極的に活用し、推進員の活動の場の増加を図った。また、ブログや情報紙にて推進員活動の紹介を行うなど広報を行った。

＊講師派遣への推進員の活用：5回の講師派遣で、13名が活動

＊イベント出展への推進員の活用：13回のイベント出展で、43名が活動

＊推進員活動の広報：ブログ13回、情報紙2回

※ストップ温暖化センターみやぎブログ URL：<http://blog.canpan.info/stopgwm/>

※MELON 情報誌ウェブ URL：<http://www.melon.or.jp/melon/syuppanhanbai.html>

ブログへの推進員活動の掲載（9/12掲載分）

MELON 情報紙・推進員だより
（2018年1月発行）

（4）地球温暖化防止活動を行う民間団体等の調査・取材

宮城県内において地球温暖化防止活動を行う団体・学校・企業等の調査および低炭素杯 2018 への応募周知を行うとともに、エントリー団体の取材を行なった。今年度は宮城県温暖化防止活動連絡調整会議構成員と連携し、各構成員がもつネットワークを活かし、周知を拡大することで新たな団体の発掘を強化した。

＊取材：3件実施



1/29 宮城農業高校取材



2/20 仙台市取材



2/15 低炭素杯 2018 取材

(5) 地球温暖化防止活動を行う民間団体等の広報

(4) にて取材した3件について、ウェブサイトや情報紙等で紹介し情報発信を行った。

＊ブログへの掲載：3件

※ストップ温暖化センターみやぎブログ URL：<http://blog.canpan.info/stopgwm/>



宮城農業高校取材記事 (1/31 掲載)



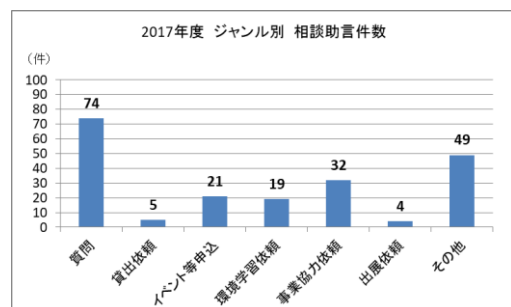
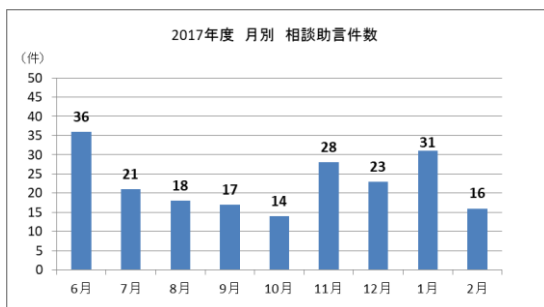
低炭素杯 2018 取材記事 (2/22 掲載)

③ 【日常生活に関する温室効果ガス排出抑制措置等についての相談対応、助言】(第38条第2項第2号)

地域の日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための措置について、地域住民の照会・相談窓口となり助言を行なった。

＊受付体制：電話、メール、FAX、来訪

＊対応実績：204件



④ 【地域の温室効果ガス排出に関する実態調査(調査協力含む)、情報収集・分析、成果の発信】

(第38条第2項第3号、第4号)

宮城県内における温室効果ガスの排出実態について、調査・把握・分析等を行い、広く県民へ周知することで、温室効果ガスの抑制を図った。

(1) 宮城県内の一般家庭における CO₂ 排出実態の分析

2016 年度宮城県センター事業において実施したうちエコ診断の結果をもとに、宮城県内の一般家庭における CO₂ の排出実態および温暖化対策の取り組み状況の把握・分析を行うことで、独自データを作成した。

(2) 分析結果をまとめた冊子作成

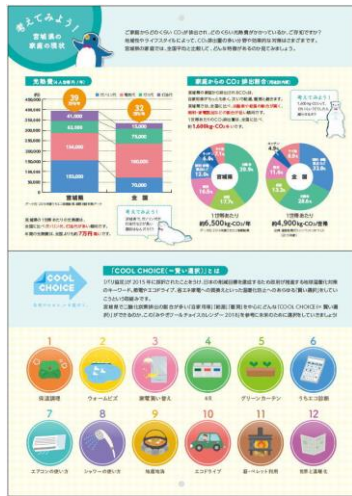
(1) で分析した結果をとりまとめ、一般市民への啓発のための冊子を作成した。

*掲載内容：宮城県の家庭の現状（光熱費、CO₂ 排出量）、季節ごとに家庭で取り組める COOLCHOICE 行動のアドバイスコメント、ストップ温暖化センターみやぎおよび推進員の紹介

*作成部数：2,000 部

*完 成：2017 年 11 月

*主な配布先：推進員、宮城県内自治体、市民センター、文化施設、イベント・講座での配布等



宮城県の家庭の現状、COOL CHOICE



ストップ温暖化センターみやぎおよび推進員の紹介

⑤【指定団体等への施策の協力・連絡調整会議の設置・運営】（第 38 条第 2 項第 5 号）

指定自治体が実施する施策について、自治体からの依頼もしくは宮城県センターからの働きかけにより積極的に協力を行った。また、平成 29 年度にかかる宮城県センター事業の成果についての検証・評価を行うため、「宮城県温暖化防止活動連絡調整会議」を設置し、宮城県センターが開催運営等の事務局業務を行なった。今年度は、会議以外でも構成員と連携（講師依頼、イベント等の企画運営）することで、より効果的で円滑な事業遂行を図った。

*構 成 員：14 名

*開催回数：3 回

(1) 構成員

	氏 名	所 属
1	阿部 育子	個人、MELON 評議員
2	伊藤 卓雄	個人、MELON 会員
3	大場 健一	山形県地球温暖化防止活動推進センター センター長
4	伊勢 武彦	宮城県環境生活部環境政策課 課長
5	小野寺 むつ子	宮城県地球温暖化防止活動推進員
6	門田 陽子	個人、MELON 理事
7	菅野 一郎	みやぎ環境カウンセラー協会副代表
8	菊地 敏子	個人、宮城県地球温暖化防止活動推進員、MELON 理事

9	小林 幹	一般財団法人省エネルギーセンター東北支部 事務局長
10	昆野 加代子	みやぎ生活協同組合生活文化部
11	佐藤 剛	個人、MELON 会員
12	佐藤 俊彦	NPO 法人環境会議所東北
13	高平 尚	東北電力株式会社宮城支店企画管理部門部長（企画担当）
14	中田 俊彦	東北大学大学院工学研究科 教授
15	長谷川 公一	東北大学大学院文学研究科 教授、MELON 理事長
16	樋口 千恵	仙台市環境局環境部環境共生課 課長

(2) 開催実績

	開催日	出席者数	内容
第1回	7/19 (水) 18:00~20:00	構成員 11名 事務局 4名	平成29年度委託・補助事業等の実施概要
第2回	10/18 (水) 18:00~20:00	構成員 8名 事務局 5名	平成29年度委託・補助事業等の進捗報告
第3回	2/21 (水) 18:00~20:00	構成員 10名 事務局 5名	平成29年度委託・補助事業等の評価、平成30年度事業の活動計画



7/19 第1回



10/18 第2回



2/21 第3回

⑥【附帯する事業】(第38条第2項第6号)

①～⑤の事業実施において附帯する事業を行う事で、①～⑤の事業が効果的および円滑に遂行することを図った。

(1) 他県の地球温暖化防止活動推進センターへのヒアリング訪問

効果的な地域センター運営および推進員支援等についてのブラッシュアップを図るため、他県の地球温暖化防止活動推進センターへのヒアリング訪問を2回実施した。

1) 川崎市センター

日 時：9月18日(月・祝) ヒアリング 11:00~12:30、推進員研修見学 14:00~17:00

場 所：小黒恵子童謡記念館 貸会議室(神奈川県川崎市高津区諏訪3-13-8)

対応者：川崎市センター 事務局長 笹子まさえ氏

訪問者：吉田美緒

所 感：・推進員のほとんどが活動しており、うまく連携できている印象だった。顔が見えている方も多く、推進員個人の繋がりから活動の輪が広がっている様子が伺えた。推進員の活動も自立しているようだった。

・展示スペースの内容を毎月替えているという取組みは面白いと思った。内容もスタッフの特色を生かしているようだったので、川崎市センターの事務所に行けなかったのが残念であった。

・京都府センター木原氏を講師に招いて開催した推進員研修での話しは、ヨーロッパでの温暖化対策についての話題が主ではあったものの、京都府センターの事例もいくつか聞くことができた。川崎市も京都府も推進員の活動場所が豊富にあるように思えた。



京都府センター木原氏



研修の様子

2) 秋田市センター

日時：9月29日（金）ESD ツール発表会・意見交換会 14：15～16：00、
秋田市センター訪問 17：00～17：15

場所：秋田市役所3階 会議室3-D（秋田県秋田市山王一丁目1-1）

対応者：秋田市センター 福岡真理子氏、岩本承子氏

訪問者：古林恵理

所感：・秋田市ほか青森県・岩手県・秋田県・福島県・佐賀県の地域センターが集まった ESD ツール作成発表会に参加した。

- ・秋田市については、ツール検討・開発委員会を作り開発プロセスをしっかりと組み立てたうえで計画的に作成・実践・改善をしており、完成したツールの完成度の高さや有効さが伺えた。推進員がメンバーになっていたが、元理科教師やうちエコ診断士、地球温暖化防止コミュニケーターなどスキルの高い人材が集まっており、推進員の人材の豊かさを感じた。
- ・ツール作成プロセスなど参考になる点が多かったので、今後の宮城県センターでのツール作成する場合にぜひ取り入れたい。
- ・秋田市では、推進員を地域のリーダーとなる人と位置付けており、委嘱を断る場合もあるとのことである。少数精鋭でレベルの高い活動を実施しているようであった。



秋田市センターツール「環境玉手箱」



秋田市センター外観

(2) 全国センター調査への協力

全国センターが実施する各種調査・アンケート等に協力することで、円滑な事業遂行を図った。

＊時期：通年

＊調査等：クールチョイス賛同の登録状況について、H29センター便覧の原稿作成、事業進捗報告・自己事業評価（PDCA）シートの作成、普及啓発活動の効果評価のためのアンケート調査、地域センター活動集(2017)に係る活動実績調査、地球温暖化防止月間に行われる行事の登録について、家庭の省エネアンケート、COOL CHOICEに関するアンケート、地域における地球温暖化防止活動推進員 活動ガイドライン作成マニュアル等

<事業の効果>

【事業の効果と目標】

- A) エネルギー起源 CO₂排出削減量： 306 (t-CO₂) (目標： 219 (t-CO₂))
 B) COOL CHOICE 賛同数： 5,755 (人) 20 (社) (目標： 5,000 (人) 10 (社))

【上記のエネルギー起源 CO₂排出削減量及び COOL CHOICE 賛同数の測定方法（計算式、根拠資料等）】

A) エネルギー起源 CO₂排出削減量

本事業にて実施した一般市民向けに普及啓発活動について、削減原単位を用いた計算結果を合算することにより算出した。削減原単位および係数については「平成 28 年度地域での地球温暖化防止活動基盤形成事業委託業務報告書」（全国ネット作成）に準ずる。

*削減量 (kg-CO₂/年) = 削減原単位 × 削減効果算出のための係数 × 参加人数

*削減原単位=138 (kg-CO₂/年/人)

*削減効果算出のための係数

削減係数	啓発手法	
	座学・体験・展示	対話
温暖化問題全般	1	0.94
その他	0.89	1.06

(1) CO₂排出削減量の結果一覧

	業務一覧	CO ₂ 削減量	
		事業期間 (kg-CO ₂)	年間 (kg-CO ₂ /年)
1	① (1) キリバス環境出前講話の実施	85,995	269,928
2	① (2) 環境講座・授業への講師派遣	36,842	71,484
3	① (3) 地域イベントにおけるブース出展	182,484	393,300
4	① (4) 地球温暖化に関する講演会の開催	1,123	9,108
合計		306,444	743,820

(2) 業務別結果一覧

<① (1) キリバス環境出前講話の実施>

*啓発手法は「座学・体験・展示」、啓発内容は「温暖化問題全般」で全回共通

	実施日	実施場所	削減効果 算出のた めの係数	参加者数 (名)	実践期間 (実施日～ 2017/2/28)	CO ₂ 削減量	
						事業期間 (kg-CO ₂)	年間 (kg- CO ₂ /年)
1	6/30 (金)	栗原市立築館小学校	1	107	243	9,831	14,766
2	9/14 (木)	仙台市立七郷小学校	1	170	167	10,734	23,460
3	9/19 (火)	大崎市立古川第二小学校	1	123	162	7,534	16,974
4	9/20 (水)	宮城県石巻工業高校	1	40	161	2,435	5,520
5	9/26 (火)	加美町立鹿原小学校	1	26	155	1,524	3,588
6	10/11 (水)	美里町立小牛田中学校	1	250	140	13,233	34,500
7	10/13 (金)	仙台市立北仙台小学校	1	85	138	4,435	11,730
8	10/24 (火)	仙台市立高砂小学校	1	76	127	3,649	10,488
9	10/25 (水)	宮城県白石工業高等学校	1	70	126	3,335	9,660

10	11/6 (月)	尚綱学院大学	1	50	114	2,155	6,900
11	11/14 (火)	利府町立青山小学校	1	60	106	2,405	8,280
12	11/15 (水)	東北工業大学	1	65	105	2,580	8,970
13	11/21 (火)	多賀城市立山王小学校	1	113	99	4,230	15,594
14	11/27 (月)	登米市立米谷小学校	1	32	93	1,125	4,416
15	12/4 (月)	石巻市立中津山第一小学校	1	39	86	1,268	5,382
16	12/8 (金)	利府町立利府西中学校	1	140	82	4,340	19,320
17	12/18 (月)	東松島市立矢本第一中学校	1	176	72	4,791	24,288
18	12/19 (火)	利府町立利府小学校	1	115	71	3,087	15,870
19	1/9 (火)	宮城大学食産業学部	1	140	50	2,647	19,320
20	2/6 (火)	利府町立利府第三小学校	1	79	22	657	10,902
合計				1956		85,995	269,928

<① (2) 環境講座・授業への講師派遣>

※啓発手法は「座学・体験・展示」、啓発内容は「温暖化問題全般」で全回共通

	実施日	実施場所	削減効果 算出のた めの係数	参加者数 (名)	実践期間 (実施日～ 2017/2/28)	CO ₂ 削減量	
						事業期間 (kg-CO ₂)	年間 (kg- CO ₂ /年)
1	7/12(水)	栗原市立築館小学校	1	107	231	9,345	14,766
2	7/25(火)	仙台市立荒町児童館	1	80	218	6,594	11,040
3	8/19 (土)	亘理町	1	40	193	2,919	5,520
4	9/15 (金)	岩沼市立岩沼西小学校	1	181	166	11,360	24,978
5	9/21 (木)	仙台市環境局	1	30	160	1,815	4,140
6	9/22 (金)	仙台市立北仙台小学校	1	80	159	4,809	11,040
合計				518		36,842	71,484

<① (3) 地域イベントにおけるブース出展>

※啓発手法は「座学・体験・展示」、啓発内容は「温暖化問題全般」で全回共通

	実施日	イベント名	削減効果 算出のた めの係数	参加者数 (名)	実践期間 (実施日～ 2017/2/28)	CO ₂ 削減量	
						事業期間 (kg-CO ₂)	年間 (kg- CO ₂ /年)
1	6/18(日)	しちがはま環境フェスタ	1	100	255	9,641	13,800
2	6/25 (日)	環境マルシェ	1	100	248	9,376	13,800
3	7/15 (土)	みやぎ生協太子堂店祭	1	50	228	4,310	6,900
4	7/16(日)	サイエンス・デイ 2017	1	500	227	42,912	69,000
5	8/3(木)～ 4(金)	震災対策技術展	1	500	209	39,510	69,000
6	9/3 (日)	エコフェスタ 2017	1	50	178	3,365	6,900
7	9/23 (土)	MELON フェスタ	1	80	158	4,779	11,040
8	10/8(日)	りふ環境まるごとフェア	1	500	143	27,033	69,000
9	10/15 (日)	柴田町環境フェア	1	20	136	1,028	2,760
10	10/28 (土)	エネサンス東北お客様感謝祭	1	100	123	4,650	13,800

11	10/29(日)	おおがわら環境フェア	1	200	122	9,225	27,600
12	11/3 (金・祝)	石巻市環境フェア	1	500	117	22,118	69,000
13	12/10(日)	環境フォーラムせんだい	1	150	80	4,537	20,700
合計				2850		182,484	393,300

<①(4) 地球温暖化に関する講演会の開催>

※啓発手法は「座学・体験・展示」、啓発内容は「温暖化問題全般」

	実施日	イベント名	削減効果 算出のため の係数	参加者数 (名)	実践期間 (実施日～ 2017/2/28)	CO ₂ 削減量	
						事業期間 (kg-CO ₂)	年間 (kg- CO ₂ /年)
1	1/14(日)	COP23 報告会 in 仙台	1	66	45	1,123	9,108

B) COOL CHOICE 賛同数

以下の業務にて COOL CHOICE を周知するとともに、賛同を集めた。

	業務	個人賛同 数	団体賛同 数	団体所属 人数
1	①(1) キリバス環境出前講話の実施 ※受講校 18 校に対し実施した。	0	18	4,834
2	①(3) 地域イベントにおけるブース出展 ※18 回のブース出展にて実施した。	723	2	163
3	①(6) COOL CHOICE の広報および賛同登録の呼びかけ ※推進員による呼びかけやその他事業、知人等への個別声 かけにて周知・賛同を集めた。	35	0	0
	合計	758	20	4,997